



## 第 6 戦

## SUGO GT 300km RACE

## スポーツランドSUGO

予選

9月19日(土)

天候：曇り コース状況：ドライ

SUPER GTもいよいよ後半戦に突入した。第6戦スポーツランドSUGOは、シルバーウィークの序盤、9月19～20日に開催。今回は前戦の鈴鹿と同じ80kgというサクセスウェイトだが、実際には50kgのウェイトを搭載し、決勝中の給油リストラクター制限を受ける。また参加条件の変更があり、BoP重量が+10kg増の+85kgとなり、最低地上高は46.0mmから44.0mmへ戻された。前回はノーポイントに終わっただけに、今回はできるだけ多くのポイントを獲得したいところ。

予選：12位



秋雨前線の影響でぐずついた天候の続く東北地方。仙台郊外のSUGOは搬入日の18日からやや肌寒い天候が続いた。朝の公式練習は気温22℃、路面温度23℃の10時30分にスタートした。開始直後は路面がハーフウェットで、車両の走行を重ねるごとに乾いていくコンディション。まずは堤がコースインして車両の状態を確認。中盤にト部へスイッチしたがセッション後半から霧雨が降り始め、やがてコースは濡れタイヤ選択が難しい状態となった。FCYテストを終えGT300クラスの専有走行時間では再びコースが乾いて来るなど路面状況はめまぐるしく変わったが、序盤のドライ路面での堤の1分18秒356がベストタイムでクラス8位という順位だった。

14時30分、曇り/ドライ、気温23℃、路面温度28℃のコンディションで公式予選はスタートした。今回HYPER WATER INGING GR86 GTは14台からなるB組に区分。15時48分にB組のQ1が始まると、堤がコースイン。堤がQ1を担当するのは5月の富士以来2回目で、9位以内に入りQ2進出を決めなければならない。堤は計測3周目に1分17秒706をマークしてその時点で2番手につけ翌週にピットイン。結果的には5位となったが無事Q2進出を果たすこととなった。

15時23分に始まったQ2はト部がコースイン。3周目に1分17秒661で8番手につけたが、ト部のタイムを上回る車両があり、結果的に12位となり決勝レースのグリッドが確定した。

20日の300kmレースは、13時30分にスタート予定。





## ドライバー 堤 優威

「朝の公式練習はみんな難しいコンディションで、可もなく不可もなくというタイムと順位でした。予選はQ1を絶対に通ることが大事だったのですが、無事に通すことができました。そのデータをト部選手も見てアタックしました。あとコンマ2秒ほど上がれば6位ぐらいには行けたのですが全体的には良かったと思います。明日は天気を読めませんが、晴れたらタイヤ的にきついと思うので雨が降ってくれた方がいいです。明日は順位を上げて行けるように頑張ります」

## ドライバー ト部 和久

「GT300でSUGOを走るのは初めてだったのですが、堤選手のデータと自分のデータを見比べて走行に活かしていきました。予選はあとコンマ1秒上げたら9位、コンマ2秒上げたら6位でした。自分の的には振り絞ったのですが、特に最終コーナーの進入などで思い切ってクルマを動かさせませんでしたし、もっと行けたのではないかと悔しい結果です。決勝ではSUGOはタイヤ、特に左側に厳しいコースですが、攻め切りたいと思います」



## 監督 加藤 寛規

「公式練習ではいろいろ確認したいことがあったのですが、コンディションが一定にならずそのまま予選を迎えることになりました。予選は満点ではないのですが、ドライバーもチームも頑張ってくれました。予選タイムは僅差だったのでこの順位です。明日は雨予報ですが、ドライコンディションだとなかなか抜けないコースですし、しっかりミスなくポイントを1点でも多く取れるように頑張ります。今回の予選ではダンロップタイヤが良い結果でしたが、決勝はまた別物だと思います」

